

調印式の様子

に万全の体制をとれるという。

た。送付された土壌はア

ハルビン市は、新再生可能エネルギー利用の推進に向け、2018～20年の期間にバイオマス発電所を24施設建設する。総規模537.5メガワットとなる計画だ。内訳は、木質バイオマス発電16施設(462メガワット)、生活廃棄物発電8施設(75.5メガワット)。

原料不足で紙生産量が減少

ため製紙会社原料生産工場経営戦略と

インタビュー

今年6月、(一社)埼玉県環境産業振興協会の青年部会長に就任した設楽竜也氏。シタラ興産の二代目社長として社業の発展に奔走する中、業界の未来を展望、人材育成や人と人のつながりが重要と指摘。部長として(部会員)一人一人をよく知りた。相互の交流も大事にしたい。また、苦労や経験を互いに語り合う場にもしていきたい」と語った。

——産廃業に入ったとき、父の会社が産廃業だった。正直、興味がなかったわけではなく、ホテルマンになりたい夢があった。しかし、父から会社を継ぐように言われ、従った。若い頃から3Kの現場で働き、さまざまな経験を積んだことが今につながっている。

——部会の現状をどう見るか。当然ながら、次の経営者となる人たちが多。また、そういう人たちに向けた勉強会が行われてきた。しかし、これからは10年後、20年後に各社の中核となる社員の育成も重要で、そういう人たちに向けた活動も必要ではないか。産廃業は設備投資をしなければ発展しないが、同時に人も大切。高度な設備を導入して、もそれを扱うのは人

一人一人をよく知りたい

(一社)埼玉県環境産業振興協会青年部 会長 設楽 竜也氏に聞く



互いに苦労を語り合う場に

だ。たとえば30代で産廃の仕事にやりがいや将来性を感じている人たちが参加できる場ができたと思う。

——手始めに何をやりたいことはいろいろあるが、まずは部員一人一人をよく知りたい。できるだけ直接的に話をしていきたい。業界をつくりたい。また、部会員相互の交流も大事になる。会社は違っても、同じ地域で同じ仕事をしているのと同じような苦労や経験、悩みを抱えているはず。そうしたことを正直に語り合う場に

たい。

「告発者に奨励金」

環境法違反で初の

縮まり、市民がその管理に積極的に参加するよう、浙江省は告発団体または個人に奨励金を与えるとした。一固形廃棄物環境違法行為告発奨励暫定措置」を打ち出している。このたび実施以来初の告発者が市民からあり、同省環境部が廃電池移送の違法譲渡案件を押収。告発者は5000元(8万5000円、1元=17.2円)を

資源輸入禁止の影響広がる

違法行為の取り締まりに市民参加

外国からの廃棄物輸入規制の影響で、中国国内の古紙原料が不足

た。今、原料生産工場経営戦略と

マイクログ水質汚染

中国科学

園は、内陸汚染物質とロプラスチを強化する

峡ダム工事し、工業製

由来のプラ

子が淡水中に染をもたら

報告。「サ

以内のもの

める。プラ

似ており、

食われる恐

生態系と社

めて大きい

た。古紙回収量を高め

るには長期的で効率的

済参考報

が参加し、魅力ある青年部会をつくり、業界を盛り上げていき

2018年上半期には管理体制が強化され、国の統計によると1～5月の製紙生産量は前年比約5%減少した。古紙回収量を高めるには長期的で効率的